

令和5年度 水道事業会計予算の概要

資料4

- 1 業務の予定量及び推移・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- 2 収益的収入及び支出の概要・・・・・・・・・・・・P4
- 3 水道料金並びに分担金及び加入金収入の推移・・P6
- 4 県水受水費並びに県水及び井水割合の推移・・P8
- 5 資本的収入及び支出の概要・・・・・・・・・・・・P9
- 6 建設改良費の推移・・・・・・・・・・・・・・・・P11
- 7 企業債残高及び対給水収益比率の推移・・・・・・・・P12
- 8 主要な建設改良事業等について・・・・・・・・P13

水安全部 総務課



1 業務の予定量及び推移 ①

(消費税込)

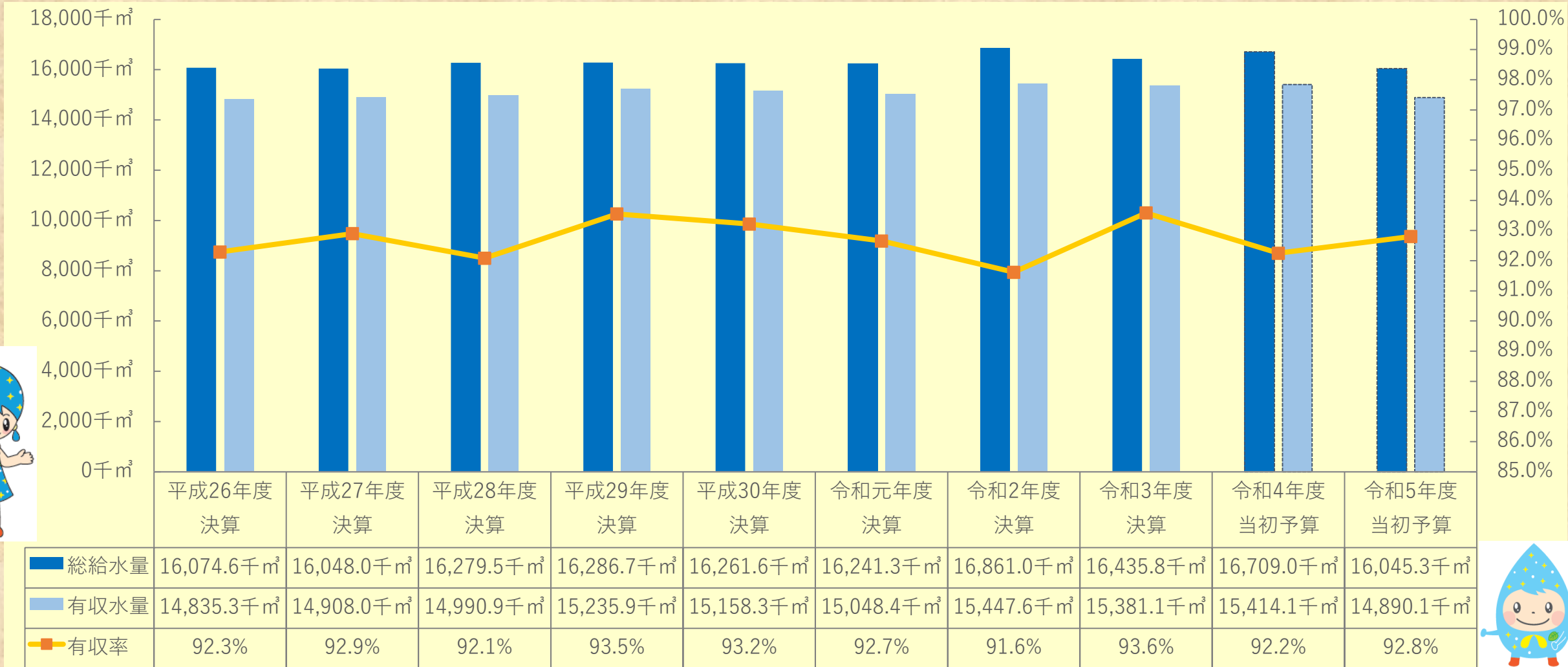


1	給水戸数	68,900戸	(対前年度増減率 +1.8 %)
2	年間総給水量	16,045,340m ³	(対前年度増減率 ▲4.0 %)
3	一日平均給水量	43,840m ³	(対前年度増減率 ▲4.2 %)
4	主要な建設改良事業	701,372千円	(対前年度増減率 +27.7 %)
	① 配水管布設事業	14,635千円	(対前年度増減率 ▲39.8 %)
	② 浄水場整備事業	294,739千円	(対前年度増減率 +75.2 %)
	③ 配水管改良事業	391,998千円	(対前年度増減率 +9.9 %)

区 分		年 度	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算
給 水	人 口		140,645人	140,952人	141,206人	142,500人	142,800人
	戸 数		66,180戸	67,183戸	67,776戸	67,700戸	68,900戸
普及率			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
総給水量			16,241,320m ³	16,861,000m ³	16,435,838m ³	16,709,040m ³	16,045,340m ³
有収水量			15,048,390m ³	15,447,615m ³	15,381,123m ³	15,414,089m ³	14,890,076m ³
有収率			92.7%	91.6%	93.6%	92.2%	92.8%
一日平均給水量			44,375m ³	46,195m ³	45,030m ³	45,778m ³	43,840m ³
一日最大給水量			47,150m ³	48,790m ³	47,620m ³	48,942m ³	48,126m ³

1 業務の予定量及び推移 ②

●**総給水量** 両水量ともにほぼ横ばい傾向。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大による“巣ごもり需要”の影響で一時的に家庭使用
有収水量 量が増加。新年度は、家庭・企業での節水意識の高まり等から減少を想定。有収率は管路更新に伴い改善を見込む。



※有収水量と有収率：給水量のうち、料金徴収の対象となった水量とその割合。料金徴収対象外の水量は、漏水、管洗浄用、消火栓用、メータ不感量等。

2 収益的収入及び支出の概要 ①

(消費税込 単位：千円)

科目等		年度		対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度増減率 (A) / (B)
		令和5年度当初予算額 (A)	令和4年度当初予算額 (B)		
収益的 収入 支出	収益的収入(a)	2,599,499	2,651,068	△ 51,569	-1.9%
	収入				
	営業収益(給水収益[水道料金])	2,192,133	2,257,448	△ 65,315	-2.9%
	営業収益(その他営業収益[負担金等])	305,895	289,127	16,768	5.8%
	営業外収益(長期前受金戻入等)/特別利益	101,471	104,493	△ 3,022	-2.9%
	収益的支出(b)	2,633,342	2,579,392	53,950	2.1%
	支出				
	職員人件費	150,778	149,705	1,073	0.7%
	県水受水費	872,332	908,403	△ 36,071	-4.0%
	委託料	468,877	436,231	32,646	7.5%
修繕費・動力費・薬品費	199,999	158,399	41,600	26.3%	
減価償却費・資産減耗費	739,712	758,110	△ 18,398	-2.4%	
支払利息	51,583	58,862	△ 7,279	-12.4%	
その他雑支出	150,061	109,682	40,379	36.8%	
収入及び支出の差額(c) = (a) - (b)		△ 33,843	71,676	△ 105,519	-147.2%

○主な増減理由

【当期純利益／純損失(税抜) = △72,163千円】

- ・ 収入・・・家庭、企業等使用水量の減少、特に大口企業等の減少が影響。光熱水費上昇に伴う他会計からの負担金は増加。
- ・ 支出・・・光熱水費上昇に伴う動力費、その他雑支出(光熱水費)の増加。総給水量の減少に伴う県水受水費の減少。

※ 減価償却費：現金支出を伴わない支出で、固定資産取得費用の全額を取得年度の費用とせず、耐用年数に応じて配分、各期相当金額を費用として計上するもの。
 ※ 資産減耗費(固定資産除却費/たな卸資産減耗費)：現金支出を伴わない支出で、固定資産の減失等による除却に際し、未減価償却費を費用として計上するもの等。



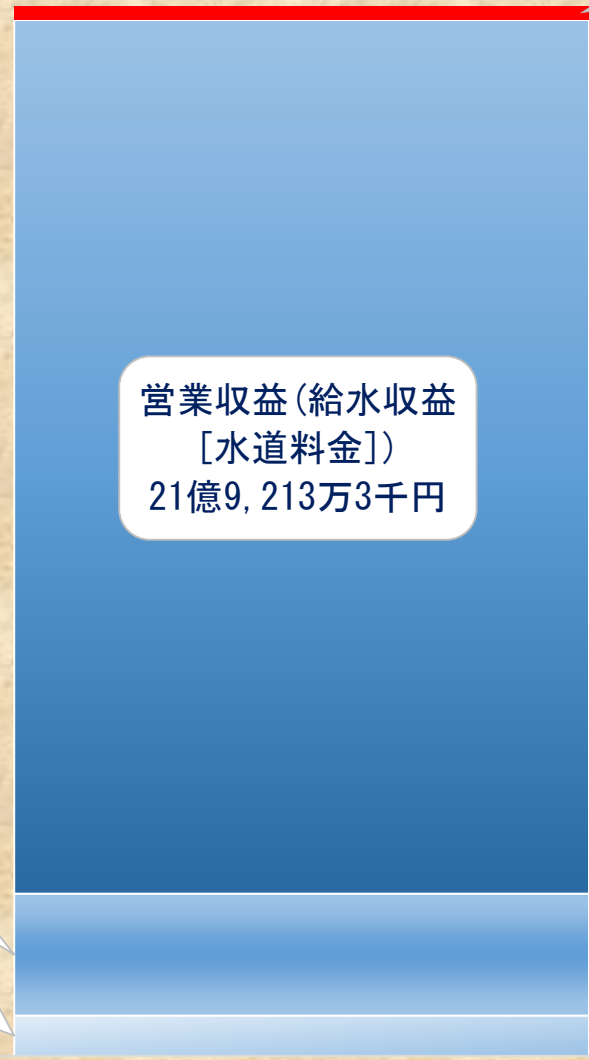
2 収益的収入及び支出の概要 ②

(消費税込)



営業収益(その他
営業収益(負担金等)
3億589万5千円

営業外収益/
特別利益
1億147万1千円



収入 25億9,949万9千円

収支差額
▲3,384万3千円



支出 26億3,334万2千円

職員人件費
1億5,077万8千円

県水受水費
8億7,233万2千円

委託料
4億6,887万7千円

修繕費・動力費等
1億9,999万9千円

減価償却費・
資産減耗費
7億3,971万2千円

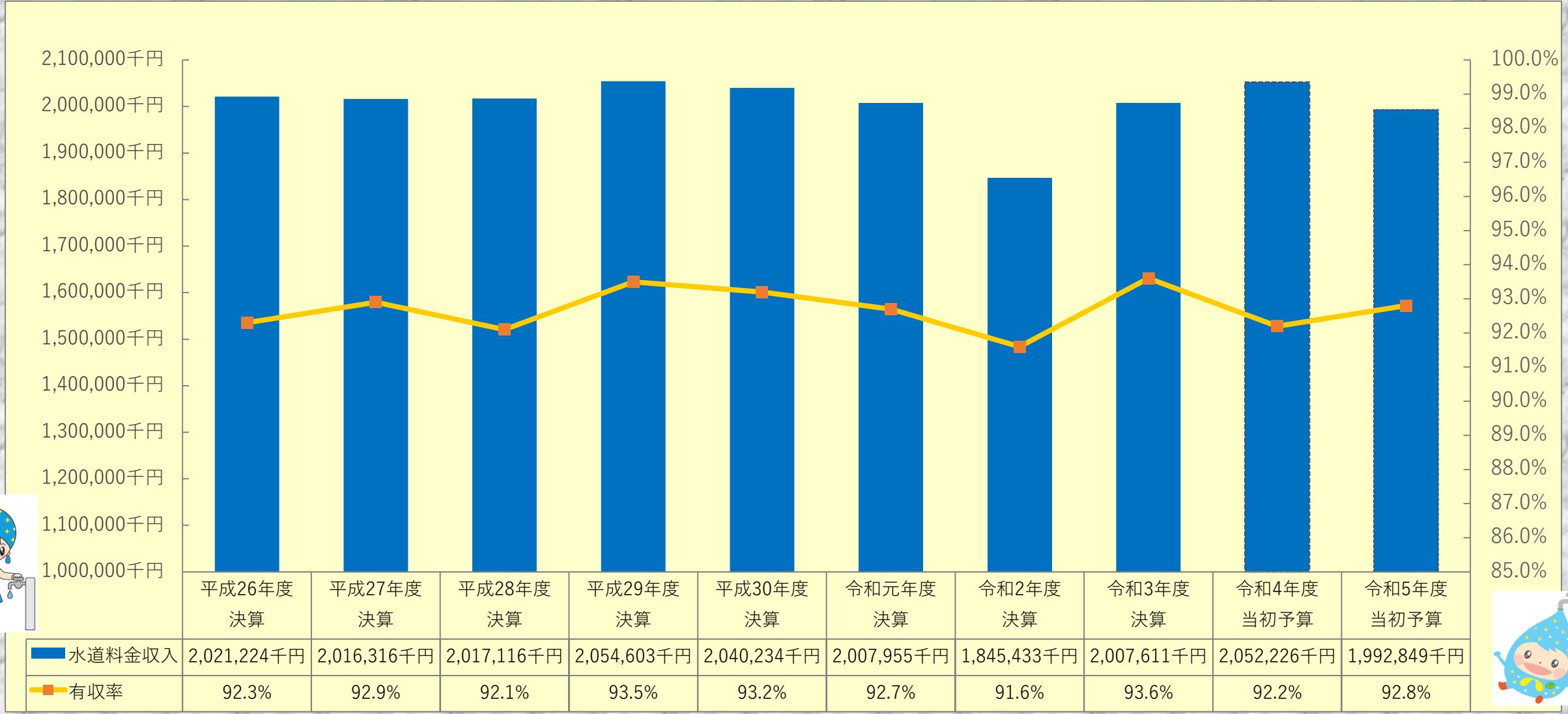
支払利息
5,158万3千円

その他雑支出
1億5,006万1千円

3 水道料金並びに分担金及び加入金収入の推移①

(消費税抜)
※決算値が税抜表記のため

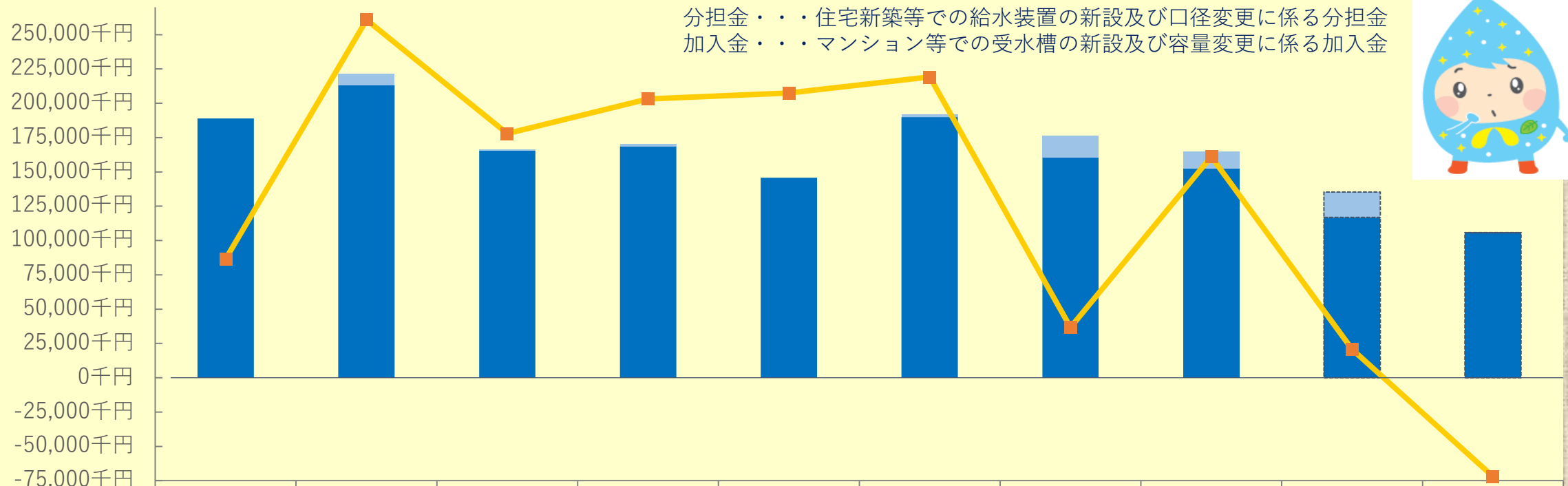
○水道料金 平成30年度以降、従量料金負担の高い大口利用者使用水量減少により減額傾向、令和2年度の新型コロナ対策基本料金減免を経て、“巣ごもり需要”により減少抑制、新年度は令和3年度比で微減想定。有収率は前年度比で改善見込。



3 水道料金並びに分担金及び加入金収入の推移 ②

(消費税抜)
※純利益/損失が税抜表記のため

●分担金 工場や倉庫跡地における戸建・集合住宅の建築等に伴い発生する収入で、各期純利益の大部分を占める。新年度は、
加入金 マンション開発件数の減少等から分担金等の収入も減少を想定。 ※純利益：H26会計基準改定、R2基本料減免により減少

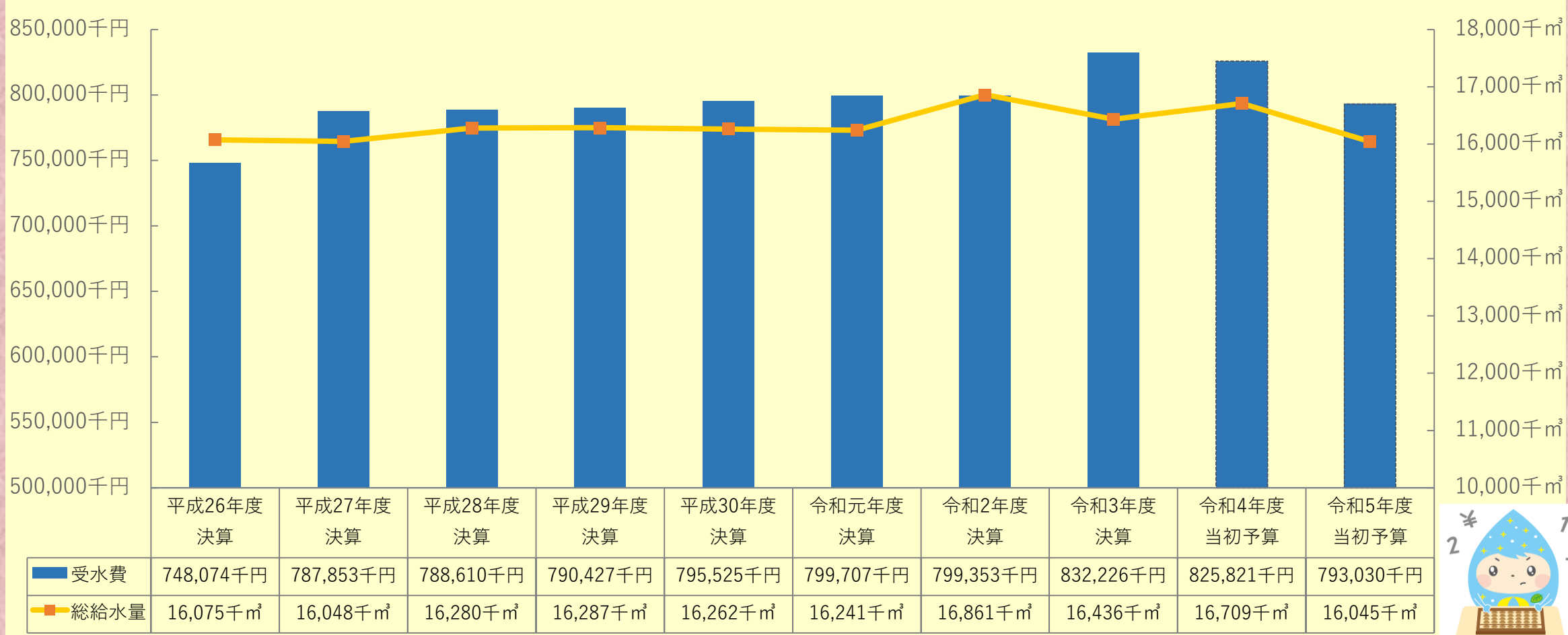


	平成26年度 決算	平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算
加入金収入	0千円	8,620千円	660千円	1,760千円	0千円	1,920千円	15,520千円	12,320千円	18,560千円	160千円
分担金収入	188,960千円	213,100千円	165,600千円	168,680千円	145,700千円	189,940千円	160,916千円	152,500千円	116,780千円	105,660千円
合計	188,960千円	221,720千円	166,260千円	170,440千円	145,700千円	191,860千円	176,436千円	164,820千円	135,340千円	105,820千円
純利益/損失	86,392千円	260,829千円	177,870千円	203,157千円	207,443千円	219,154千円	36,654千円	161,152千円	20,594千円	-72,003千円

4 県水受水費並びに県水及び井水割合の推移

(消費税抜)
※決算値が税抜表記のため

○ 県水受水費は、埼玉県企業局から供給を受ける用水の受水に要する費用で1 m³あたりの受水単価は61円78銭(H11～)。予算編成時には県水：井水の割合を80：20で算定することから、総給水量が前年度比で減少することに伴い受水費の減額を想定。



県水：井水 の割合	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04(予算)	R05(予算)
	75.3 : 24.7	79.5 : 20.5	78.4 : 21.6	78.6 : 21.4	79.2 : 20.8	79.7 : 20.3	76.7 : 23.3	82.0 : 18.0	80.0 : 20.0	80.0 : 20.0

5 資本的収入及び支出の概要 ①

(消費税込 単位：千円)

年 度		令和5年度当初予算額 (A)	令和4年度当初予算額 (B)	対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度増減率 (A) / (B)
資本的 収入 支出	資本的収入(a)	291,542	303,893	△ 12,351	-4.1%
	企業債	192,137	200,600	△ 8,463	-4.2%
	固定資産売却代金	4	276	△ 272	-98.6%
	他会計負担金(消火栓整備等)	25,446	19,694	5,752	29.2%
	工事負担金(区画整理事業等)	73,955	83,323	△ 9,368	-11.2%
	資本的支出(b)	1,097,897	958,870	139,027	14.5%
	建設改良費	738,672	587,982	150,690	25.6%
	企業債償還金	349,225	360,888	△ 11,663	-3.2%
	予備費	10,000	10,000	0	0.0%
	資本的収支不足額 (c) = (a) - (b)	△ 806,355	△ 654,977	△ 151,378	23.1%

※ 収入が支出に対して不足する額は損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額で補填。

○主な増減理由

収入・・・新設及び大規模改修に係る工事の減少に伴う企業債借入額の減少。
 支出・・・浄水施設工事及び配水施設工事の増加に伴う建設改良費の増加。

耐震化率[令和5年度末見込]
53.07% (+0.20%)

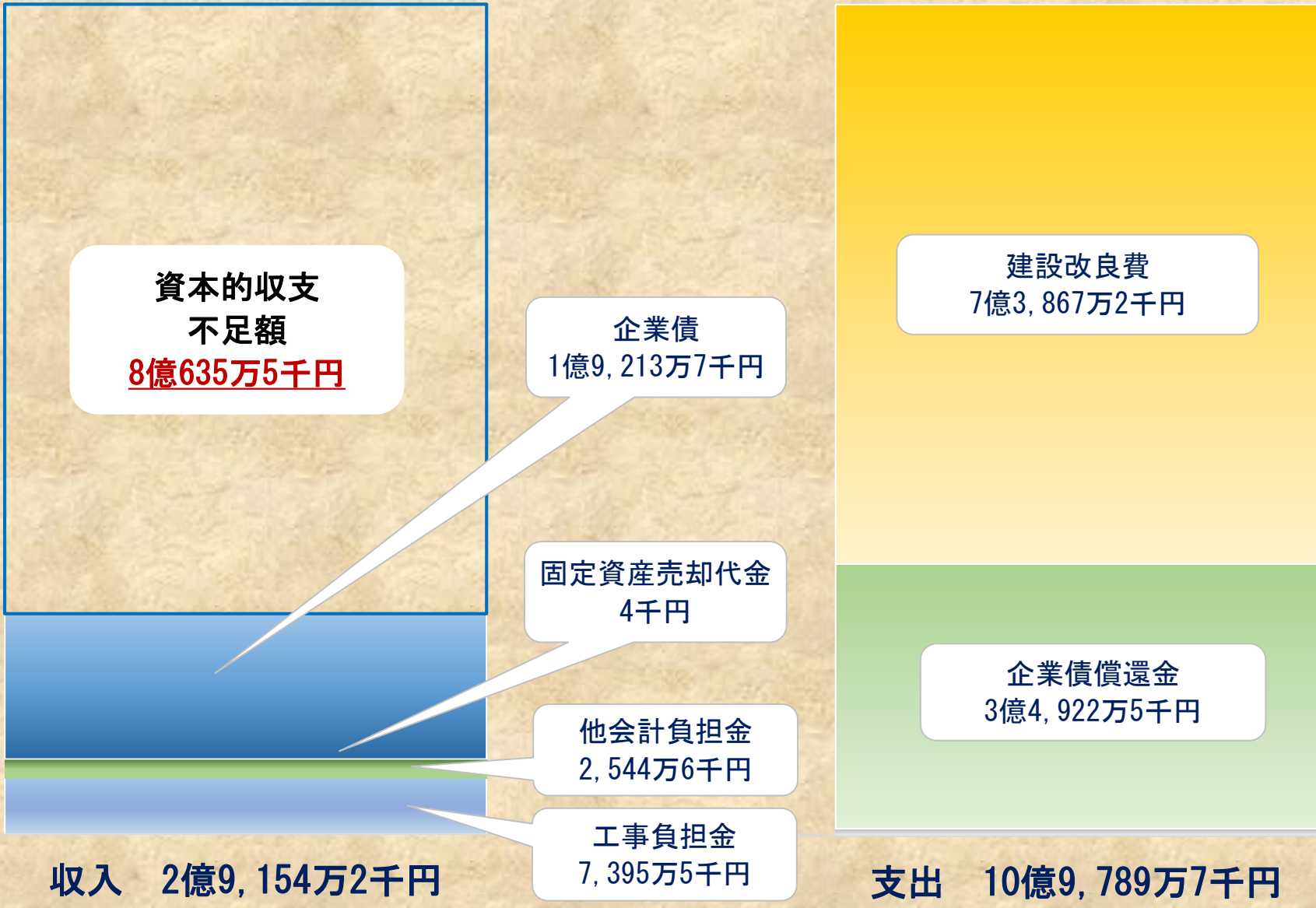


5 資本的収入及び支出の概要 ②

(消費税込)



資本的収支の収入が支出に対し不足するため、収益的収支からの損益勘定留保資金(減価償却費や資産減耗費などの現金支出を必要としない費用の計上により留保される資金)等で補てん。

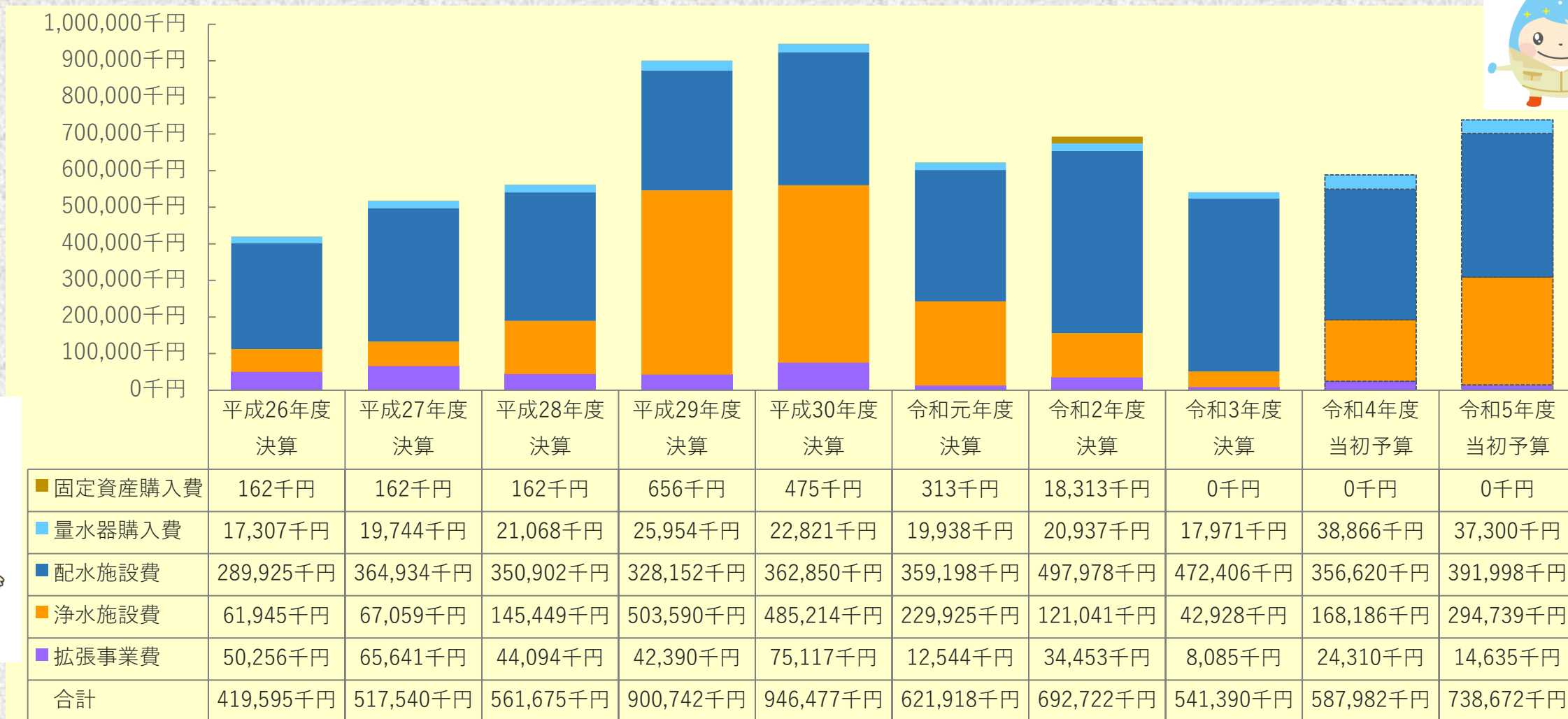


6 建設改良費の推移

(消費税込)

- 「**拡張事業費**」：土地区画整理事業に伴う配水管の布設等に係る費用
- 「**浄水施設費**」：浄水場施設及び取水井の機能維持・改修等に係る費用
- 「**配水施設費**」：基幹管路及び老朽管の耐震化に係る費用

- 「**量水器購入費**」：量水器(水道メーター)の購入に係る費用
- 「**固定資産購入費**」：土地、車両、工具器具等の固定資産の購入に係る費用



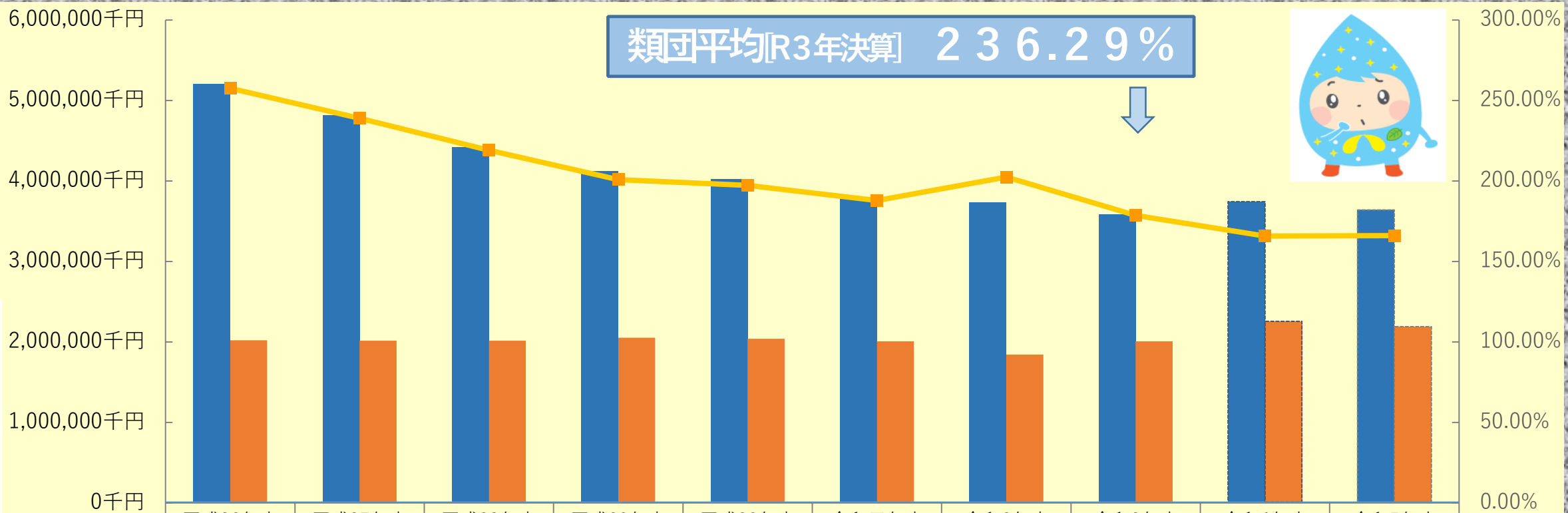
※ 決算値：
繰越額含

7 企業債残高及び対給水収益比率の推移

(非課税費目)



類団平均[R3年決算] 236.29%



	平成26年度 決算	平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 当初予算	令和5年度 当初予算
■ 企業債現在高合計	5,206,514千円	4,819,247千円	4,419,809千円	4,127,731千円	4,026,518千円	3,773,954千円	3,735,370千円	3,587,886千円	3,743,199千円	3,640,911千円
■ 給水収益(税込)	2,021,224千円	2,016,316千円	2,017,116千円	2,054,603千円	2,040,234千円	2,007,955千円	1,845,433千円	2,007,611千円	2,257,448千円	2,192,133千円
■ 対給水収益比率	257.59%	239.01%	219.12%	200.90%	197.36%	187.95%	202.41%	178.71%	165.82%	166.09%

※企業債残高対給水収益比率・・・給水収益に対する企業債残高(企業債現在高合計)の割合で、企業債残高の規模を表す指標、将来的な財政負担の状況を示す。なお、必要な管路・施設等更新の先送りなどにより企業債残高が、少額になっている場合も低下。 *令和2年度戸田市管路更新率：0.47%(類団平均：0.67%)

8 主要な建設改良事業等について① 【水道施設課(浄水施設費)】

令和5年度 西部浄水場更新事業 基本設計業務



予算額：	0千円
【財源内訳】	
自己資金：	0千円(100%)

【概要】

西部浄水場内に設置されているR C配水池(昭和38~39年竣工)、管理棟及び鋼製配水池(昭和48~49年竣工)、並びに場内配管及び配水設備等を更新するための基本設計業務の委託。

令和2年度に実施した西部・東部浄水場配水池更新検討業務の検討結果に基づき、配水池の容量や施設配置、配管計画の検討を行い、工事区分や工事手順を決定したうえで、基本設計図書を作成する。

※設計・施工分離発注方式で実施

【予算概要】

令和5・6年度の2カ年度事業として
令和5年度予算で債務負担行為を設定

事業費総額：**49,258千円**

※ 委託料の支出は、業務完了後の令和6年度一括払のため、令和5年度予算に実予算計上のない“ゼロ債務”。



【関連事項】

契約業者：株式会社 エフウォーターマネジメント
埼玉事務所

契約期間：R5.6.9~R7.2.28

契約金額：38,115千円



8 主要な建設改良事業等について②

【水道施設課(浄水施設費)】

令和5年度 東部・中部浄水場 更新事業検討業務



予算額： 13,827千円
【財源内訳】
 自己資金： 13,827千円(100%)

【概要】

東部浄水場及び中部浄水場については、近隣地に所在することから連携した運用を行っており、中部浄水場については、主に配水のピーク時に稼働している状況。昭和43年に運転開始した中部浄水場の施設・設備については、稼働から50年以上が経過しており、老朽化が進んでいることから、地震や水害等の災害対策も考慮した施設更新の必要性が生じている。

このことから、東部浄水場(昭和31年：運転開始・平成10年：施設更新)及び中部浄水場の施設整備・維持管理の効率化を目的として、東部浄水場の配置や機能等を更新する検討業務の委託を実施。



【関連事項】

契約業者：八千代エンジニアリング 株式会社
 関東センター

契約期間：R5.5.23～R5.11.30
 契約金額：6,941千円

8 主要な建設改良事業等について③

【水道施設課(浄水施設費)】

令和4年度西部浄水場1号配水ポンプ オーバーホール及びV V V F 盤更新等工事

【概要】

西部浄水場1号配水ポンプの制御を行うV V V F 盤が設置から31年が経過し、既にメーカーからの部品供給が終了しており、故障時には修理が不可能な状況にあることから当該機器に係る更新工事を実施。

また、西部浄水場1号配水ポンプについては、前回の分解整備から26年が経過していることを踏まえ、分解整備による機能回復工事を実施。

併せて、設置して31年が経過している4号・5号配水ポンプ用の満水検知器についても更新工事を実施。



【関連事項】

契約業者：昱株式会社 北関東支店
契約期間：R4.8.26～R6.1.31
契約金額：192,500千円
【内訳】 R4： 6,380千円
R5：186,120千円



予算額：212,190千円

【財源内訳】

自己資金：20,053千円(9%)
企業債：192,137千円(91%)

【予算概要】

令和4・5年度の2カ年度事業として
令和4年度予算で継続費を設定済み

事業費総額：**220,220千円**

【内訳】 R4： 8,030千円
R5：212,190千円



8 主要な建設改良事業等について④

【水道施設課(浄水施設費)】

令和5年度西部浄水場2号・3号配水ポンプ オーバーホール及び西部・中部浄水場 VVVF盤更新等工事

予算額： 45,650千円

【財源内訳】

自己資金： 45,650千円(100%)

【概要】

西部浄水場2号・3号配水ポンプについては、前回の分解整備からそれぞれ26年・11年が経過していることを踏まえ、分解整備による機能回復工事を実施。

また、西部浄水場4号配水ポンプ及び中部浄水場1号・2号配水ポンプの制御を行うVVVF盤について、設置から14年が経過していることから更新工事を実施。

併せて、設置して31年が経過している中部浄水場の1号・3号配水ポンプ吐出弁及び井水取水量計についても更新等工事を実施。

※ 機器の製作に12カ月を要するため、2カ年度の継続費を設定。

【予算概要】

令和5・6年度の2カ年度事業として
令和5年度予算で継続費を設定

事業費総額： **208,483千円**

【内訳】 R5： 45,650千円

R6： 162,833千円

【関連事項】

契約業者： 昱株式会社 北関東支店

契約期間： R5.7.25～R7.3.14

契約金額： 180,400千円

【内訳】 R4： 40,580千円

R5： 139,820千円



8 主要な建設改良事業等について⑤【水道施設課(浄水施設費/配水施設費)】

令和5年度 東部浄水場2号配水ポンプ吐出弁及び逆止弁等更新工事



予算額： 16,830千円
【財源内訳】
自己資金： 16,830千円(100%)

【概要】
東部浄水場1号配水ポンプ吐出弁及び逆止弁が固着して機能に不具合が生じたことを踏まえ、同時期(平成9年)に設置した同2号配水ポンプにおいても同様の現象が生じる可能性があることから吐出弁及び逆止弁の更新等工事を実施。

【関連事項】
東部浄水場1号配水ポンプ吐出弁及び逆止弁更新工事：令和3・4年度実施
東部浄水場3号配水ポンプ吐出弁及び逆止弁更新工事：令和4・5年度実施

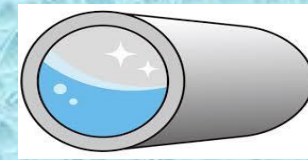


令和5年度 水道管路更新計画策定業務

予算額： 17,226千円
【財源内訳】
自己資金： 17,226千円(100%)

【概要】
既設水道台帳システムを基にデータを整理し、管路更新の優先度を評価したうえで、更新対象管路の布設位置や更新計画年度、更新費用等を整理した管路更新計画の策定に係る業務委託の実施。
※ 更新対象には市内水管橋を含めた計画とする。

【積算内容】
・設計協議 ・資料収集及び整理 ・更新優先度評価 ・評価項目の算出 ・管路の更新診断 ・年次計画の策定
・管路更新計画図面の作成 ・報告書のとりまとめ ・照査 ・旅費交通費 ・電子成果品作成費



8 主要な建設改良事業等について⑥

【水道施設課(配水施設費)】

(仮称) 3号橋築造工事に伴う配水管布設替え工事

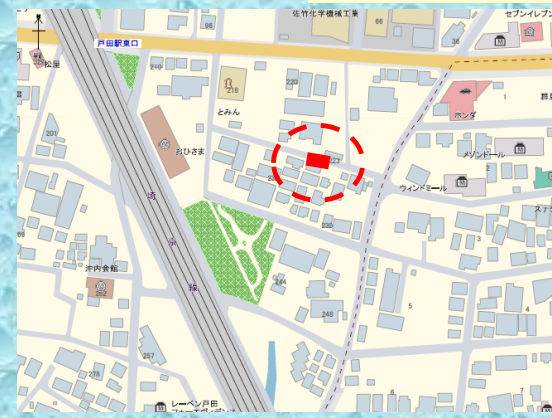


予算額： 28,611千円
【財源内訳】
工事負担金：28,611千円(100%)

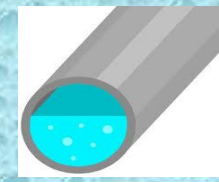
【概要】
上戸田川の河川築造及び新曽第二土地区画整理事業による(仮称)3号橋の築造に伴い、現況道路部に埋設された配水管φ100mmを橋に添架。道路上の配管との接続工事を含めて52.5mの工事延長。
※河川を横断するため、橋に添架された配水管は水管橋と呼称。

【積算内容】
数量 (φ100mm L=52.5m)
水管橋(ステンパイプ)L=16.6m
上下流接続 L=35.9m 付帯工1式

【関連事項】
契約業者：株式会社 市ヶ谷組
契約期間：R5.5.30～R5.9.29
契約金額：20,020千円



令和5年度配水管更新No.1工事



予算額： 53,724千円
【財源内訳】
自己資金：53,724千円(100%)

【概要】
老朽化配水管路の耐震化工事。本路線は令和4年度完成の配水管更新工事隣接工区となり、喜沢小学校に近く、通学路における安全対策に万全を期すとともに、車両の一方通行道路に係る交通規制解除を実施し、沿道市民への影響を最小限に留めて実施

【積算内容】
鋳鉄管工(GX形φ300) L= 93.9m 制水弁工(GX形φ300) 1基
給水管工 1式 舗装復旧工 1式 仮配水管工 1式 既設管(H3)撤去工 L= 94m



8 主要な建設改良事業等について⑦

【水道施設課(配水施設費)】

令和5年度配水管更新No.2工事



【概要】

老朽化配水管路の耐震化工事。本路線は喜沢小通学路の指定路線であり、通学路の安全対策に万全を期して実施し、西側交差点(喜沢第2公園)付近において更新管径と異なるφ200mm、φ150mmとの接続があるため、水流の変化による色水対策を徹底する。

【積算内容】

- 铸铁管工(GX形φ100) L= 123.8m
- 铸铁管工(GX形φ200) L= 21.2m
- 制水弁工(GX形φ200) 2基
- 給水管工 1式
- 既設管(S46)撤去工 L= 150.8m
- 铸铁管工(GX形φ150) L= 1.1m
- 制水弁工(GX形φ100) 7基
- 舗装復旧工 1式
- 仮配水管工 1式

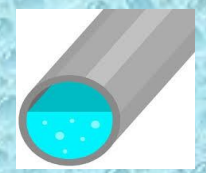
予算額： 62,568千円

【財源内訳】

自己資金： 62,568千円(100%)



令和5年度配水管更新No.3工事



【概要】

老朽化配水管路の耐震化工事。本路線は令和4年度完成した配水管更新工事の隣接工区で新曽小学校、けやき公園に近く、通学路の安全対策に万全を期すとともに、車両の一方通行道路に係る交通規制解除を実施し、沿道市民への影響を最小限に留めて実施。付近道路も一方通行が多く、近隣住民への案内を分かりやすく明示して実施。

【積算内容】

- 铸铁管工(GX形φ100) L= 129.3m
- 給水管工 1式
- 既設管(S47)撤去工 L= 119.9m
- 制水弁工(GX形φ100) 3基
- 舗装復旧工 1式
- 仮配水管 1式

予算額： 28,895千円

【財源内訳】

自己資金： 28,895千円(100%)



8 主要な建設改良事業等について⑧

【水道施設課(配水施設費)】

令和5年度 浅間橋水管橋更新工事



予算額： 69,960千円

【財源内訳】

自己資金： 69,960千円(100%)

【概要】

昭和58年完成の浅間橋水管橋については、令和4年5月末に漏水が発生、修理箇所が複数あるうえ、腐食が進んでいる箇所も多く、今後修理による機能維持は困難であると判断されたことから、令和4年度9月補正予算において更新に係る詳細設計を実施。当該設計を踏まえ、令和5年度に架替工事を実施。
※修理履歴：令和4年度までに全8回の漏水修理を実施

【積算内容】

数量 (φ150mm L=77.22m)	
水管橋(ステンパイプ)	L=15.72m
上下流接続	L=61.50m
架台設置	1式
付帯工(舗装工等)	1式
既設水管橋撤去	L=13.00m
既設架台撤去	1式
既設管(S58)	L=51.80m
撤去工	



【関連事項】

市内水管橋49橋は、全般的に老朽化が進んでいることから、令和3年度に実施した点検調査に基づき、重点管理11橋について、令和5年度予算で修繕・更新計画策定に係る経費を計上。 【令和5年度 水道管路更新計画策定業務：17,226千円】

8 主要な建設改良事業等について⑨

【総務課(総係費)】

「戸田の水来」ペットボトル水製造業務

予算額： 2,123千円
【財源内訳】
自己資金： 2,123千円(100%)

【概要】

戸田の水道水のおいしさと安全性を啓発するための商品として、平成25年度から販売。

市内の深井戸(250m)の水を使用し、防災備蓄用品としても利用できるよう、5年保存が可能なペットボトル水として製造。令和2年度製造分の在庫減少に伴い追加製造を委託。

※販売場所：新曽南庁舎自動販売機、観光情報館トビック、身障者福祉センター等

※令和4年11月9日現在の在庫数：3,458本(144箱)

*在庫全本数販売時の利益：12,103円

※製造手法：(株)秩父源流水に委託し、タンクローリーにて取水(笹目の5号取水井)、同社工場において製造。

※予算要求額は令和4年11月時点の見積額に基づき算出のため、材料費高騰等から発注時期により価格上昇あり。



【積算内容】

- 500mlペットボトル、樹脂キャップ 20,040本 × @105.94円
- 段ボール梱包 835箱(24本/箱)
- プラスチックラベル包装(4面)

災害用備蓄品(参考)
 ●食料(3日以上)
 ●レトルト食品、アルファ米
 ●缶詰・カップ麺等

飲料水(3日分)
 ※1日1人3L目安
 1人→9L 2人→18L
 3人→27L 4人→36L

災害備蓄用長期保存水
 ※賞味期限は製造日より5年です

【災害時情報】
 ●戸田市防災行政無線
 ●無料テレホンサービス [0120-13-8882]
 ●戸田市防災情報メール受信
 【いいとだメール】要事前登録
 ●災害用伝言ダイヤル【171】
 ●災害用伝言板【web171】

令和2年度 製造本数	令和2年度 委託料	製造単価(税込)		販売単価(税込)		販売状況		無償提供	
		1本	1箱(24本)	1本	1箱(24本)	本数	利益	本数	損失
20,040本	1,683千円	83.98円	2,015.52円	100円	2,100円	13,244本	50,442円	3,338本	280,332円

※無償提供(R4.11.9時点) 配水管工事の赤水対応：2,400本、庁内イベント：310本、口振景品：216本、ウ難民支援：144本、視察お礼、会議賄等

8 主要な建設改良事業等について⑩

【水道施設課(配水及び給水費)】

令和5年度 休日漏水受付・現地確認業務

【概要】

市役所の休庁日及び平日時間外の閉庁時において、市民等からの漏水通報に対応するため、電話による漏水受付業務及び現地確認に係る業務の委託を実施。



予算額： 10,915千円
【財源内訳】
 自己資金： 10,915千円(100%)

【関連事項】

契約業者：第一環境・日立製作所・日立プラントサービス共同企業体
 契約期間：R5.4.1～R6.3.31
 契約金額：7,139千円

名称	給水装置	配水管
維持管理区分	所有者	
修理対応区分	所有者	原則、所有者 場合により、戸田市